

参加者募集中

講座のお知らせ

「生活支援サービス担い手養成講座」

“自分らしい生活を支えるお手伝い”生活支援サービス（住民参加型サービスなどの有償活動）の担い手を育成するための講座を開催します。

日時及び内容

第1日目 令和元年10月10日（木）13：30～15：30

「助け合いの地域づくりにむけて」 講師 公益財団法人 さわやか福祉財団 岡野 貴代氏

第2日目 令和元年10月11日（金）13：30～15：30

「生活支援サービスの実際」 講師 公益財団法人 上尾市シルバー人材センター

＊講座終了後、生活支援サービス団体による相談会を予定

場 所 文化センター 301 集会室

参加費 無料

定 員 40名（応募者多数の場合は抽選となります）

対 象 生活支援サービスや有償の地域活動に関心のある方

申 込 お電話で上尾市社会福祉協議会（048-773-7155 月～金）へ、または、上尾市社会福祉協議会HPより入力フォームでお申し込みください。

第2号 2019.8

生活支援コーディネーターニュース

～誰もがつながりあって、安心して暮らせるまち上尾～

発行 社会福祉法人上尾市社会福祉協議会

〒362-0011 上尾市平塚724番地

TEL 048-773-7155



こんにちは。生活支援コーディネーターです。
みなさんは、住民参加型福祉サービスや生活支援サービスという言葉聞いたことがありますか。
地域では、住民同士でちょっとした困りごとをお手伝いするような助け合いの仕組みづくりが始まっています。
今回は、助け合いとはどんなものなのかをご紹介します。

ボランティア募集情報

上尾市児童発達センターつくし学園

運動会のボランティアさんを募集します。

日 時 令和元年10月6日（日） 8：30～15：00

＊順延の場合 10月13日（日）

活動内容 つくし学園の運動会です。

用具だしや会場設営など、がんばる子どもたちの運動会の準備、お手伝いをお願いします。

活動場所 つくし学園 上尾市藤波 1-209-1

問合わせ つくし学園 担当 野本・福島 Tel048-786-4493

応募締め切り
9月12日（木）

お知らせ

福祉の仕事 地域就職相談会

～高齢者・障害者の施設や保育園で、地域を支える仕事をしてみませんか？～

北本市および近隣の福祉施設が集まる就職相談会を開催します。

無資格・未経験で働ける職場もありますので、是非この機会にご参加ください。

日 時 令和元年9月25日 水曜日 12：00～15：00

場 所 北本市役所 1階 ホールABC

時 間 11：30～ 開場・受付

12：00～13：00 就職支援セミナー（福祉現場の職員による体験談、施設見学の「3つのキモ」）

13：00～15：00 就職相談会（職場の雰囲気や仕事内容の説明を聞きことができます）

参加費 無料＊事前申込された方には、素敵なプレゼント！！ 申込みがなくてもご参加いただけます

問合せ 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉人材センター

☎048-833-8033（月曜日～金曜日 10：00～17：00 祝祭日を除く）



お問合せ 上尾市社会福祉協議会 地域福祉課

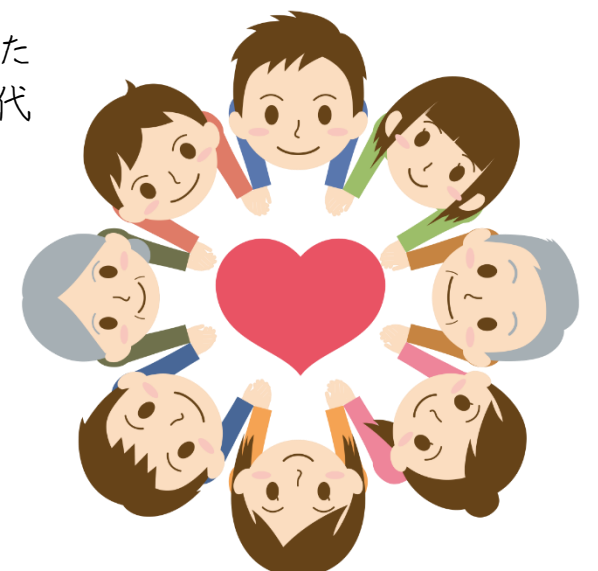
〒362-0011 上尾市平塚724 TEL 048-773-7155

☆住民参加型福祉サービス・生活支援サービス☆

人生100年時代といわれている今、ずっと健康でいられることが理想ですが、病気や怪我などから、高齢期は、日常生活を送る中でちょっとした困りごとが増えてくるのではないのでしょうか。

昔は「お互いさま」と近隣で助け合いができていたようですが、昔ほど人間関係が密ではない今の時代に合わせ、お互いさまの気持ちを会員制にしたり、謝礼にしたりと、お願いするほうも気兼ねなく助け合えるようなしくみがつくられています。

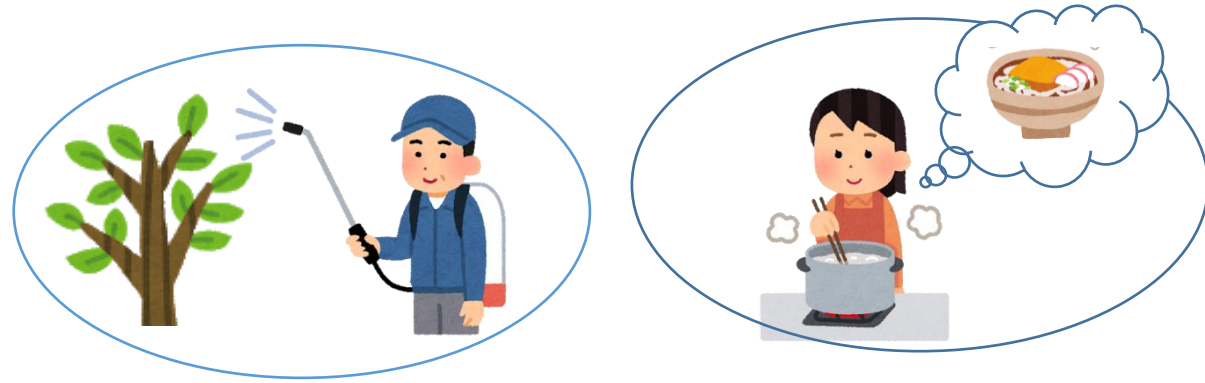
“空いている時間で” “できる範囲で” をモットーに、この街で、この地域でいろいろな人とつながって支え合う、自身の元気づくりの取り組みに参加しませんか。



☆団体で行われている多種多様な生活支援サービス☆

団体で行われている生活支援の内容は、掃除や調理といった家事を中心としたものから、病院への付き添い（身体介護が必要な場合を除く）や庭木の消毒など、得意としている分野は様々です。

自分たちができることを持ち寄り、制度などに縛られずに活動できるのも、住民同士での助け合いならではのものです。



☆住民主体の生活支援サービスの弱点は・・・☆

生活支援サービスの主催団体は、支部社協や自治会など、多くが地縁組織を主体としています。そのため、地域外での支援についてはできないとする団体もあります。活動範囲を決めていない団体でも、活動者の多くは高齢な方のため、遠くまでは行けない場合もあります。

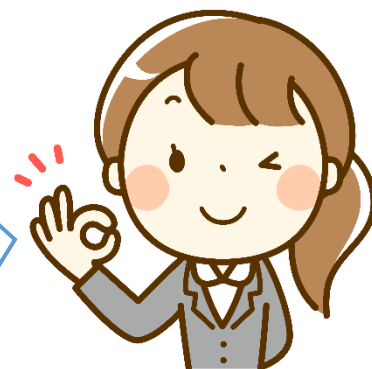
また、上尾市社会福祉協議会で行っている「あげお在宅福祉サービス」は、活動者そのものが少なく、相談があっても人の調整ができない現状があります。

制度ではないため、確約ができないということが今の弱点とも言えると思います。

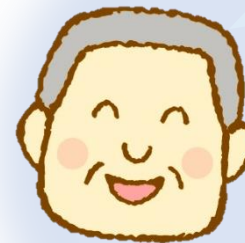
多くの人に理解いただき、協力者が増えることや、今後、たくさんの地域へ広がることを期待しています。

第2層の生活支援コーディネーターは、その地域ごとに助け合いをしていこうという団体の応援をしています。

例えば、生活支援サービスを始めたいという団体の立ち上げに関する支援や、第1層生活支援コーディネーターが行う人材育成の講座を終了された方と地域をつなぐことなどを行います。



☆自分らしい暮らしを支える生活支援サービス☆

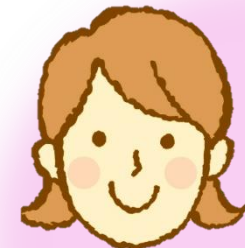


ひとり暮らしの
Aさんの場合

妻を亡くしてひとり暮らしをしています。手足のしびれで歩行がちょっと不安定のため、買い物と調理はヘルパーさんをお願いしています。妻の仏壇のお花を絶やしたくないのですが、介護保険ではお願いができなくて・・・。



2週間に1回、生活支援サービスをお願いし、お花を購入してもらっています。また、2階は普段使っていない場所のため、掃除をしてもらえないことが気になっていました。ここの掃除もお願いでき、気になることが2つも解消し、ほっとしました。



身体に障がいのある
Bさんの場合

夫と育ち盛りの子ども暮らしています。障がいがあるため、自分自身の介護は制度によるサービスを使っています。重いものが持てないため、調理は難しいのですが、夫と子どもには自分の作ったものを食べさせたい。



普段は夫が主に調理をしていますが、生活支援サービスをお願いした日は、自分で献立を考え、協力員さんに作ってもらいます。自分でできるのは味付けくらいですが、「おいしい」と食べてもらえることがうれしいです。



ひとりでの外出に
不安のあるCさん
の場合

歩行器を押せば、何とか外出はできますが、億劫になりあまり外へは出ていません。夫からは、介護保険を使ってデイサービスに行くように言われていますが気が進まないし・・・でも、誰か話し相手になってくれる人はほしい・・・。



歩いて10分ほどの病院に夫の付き添いで通っていましたが、この同行を生活支援サービスにお願いしました。病院に行くことも億劫でしたが、おしゃべりしながら歩いていくことが思いの外楽しく、通院する日が楽しみになりました。

自分らしい暮らしは人それぞれ。生活支援サービスは“自分らしく生きたい”という気持ちを支援することでもあるのではないのでしょうか。